

# 中国のネットショッピング事情

中国遼寧省 八島 萌香  
(富山県から派遣)

## 1. 初めに

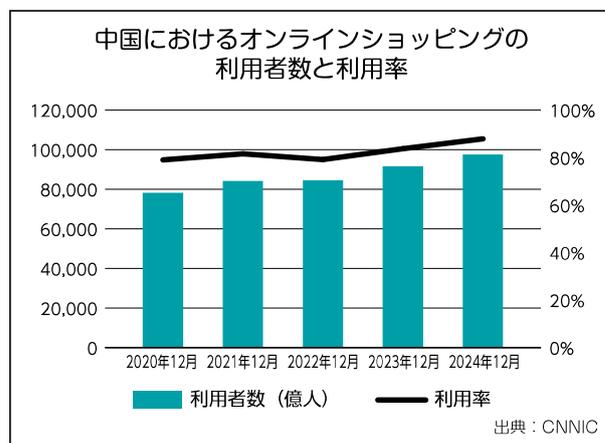
近年、日本ではネットショッピングを利用する人が増加しているが、中国においても同様である。筆者は、中国遼寧省の省都である瀋陽市で生活しているが、日常の買い物はネットで済ませている。ネットでは実店舗で売っていない日本製品も購入でき、商品を家まで届けてくれるため、とても便利である。

本稿では、現在中国に滞在している筆者が感じた中国のオンラインショッピングの現状とトレンドについて紹介する。

## 2. ネットショッピングの現状

### (1) ネットショッピング利用の増加

中国では、1994年にインターネットが利用可能となってから、IT業界が著しく成長した。2000年代にアリババがネットショッピングサイト「淘宝(タオバオ)」を開始して以降、オンラインショッピング利用者が急速に増加した。中国インターネット情報センター(CNNIC)が発表している第55回統計報告書によると、2024年12月現在、中国のネットショッピングの利用者は9億4700万人に達している。中国国際電子商務センター(CIECC)が発表している中国電子商取引報告書によると、2024年の宅配便件数は、約1,750億件であった。これは前年度比21.5%増であり、ネットショッピングを利用する人が増加していることが分かる。また、中国統計局が毎月発表している消費財の総小売売上高主要データによると、2025年におけるオンラインの小売売上高は15兆9,722億元であり、前年から8.6%増加している。総小売売上高は、前年比3.7%の増加であるため、オンライン購入の増加率が高いことが分かる。



### (2) ネットショッピングの利用方法

中国のネットショッピングでは、スマートフォンアプリを利用することが多い。よく利用されているのが、「淘宝」「京東(ジンドン)」「拼多多(ピンドゥオドゥオ)」「美团(メイトゥアン)」である。淘宝はアリババグループのオンラインショッピングアプリであり、品揃えが多くサービスも充実している。京東は、配送の速さが魅力である。拼多多は、独自の割引システムを採用しており、商品が安く、若者に人気がある。美团は、主に飲食関係を取り扱っている。この他にも複数のアプリがあり、利用者は自身に合ったアプリを使用することができる。

## 3. ネットショッピングのトレンド

### (1) ライブ配信による販売促進

中国のネットショップは、ライブ配信による販売促進を行っていることが多い。ほとんどのネットショッピングアプリにライブ中継の項目があり、利用者は簡単にライブ配信を見ることができる。電化製品等の日用品以外にも、お菓子や農水産物といった食品もライブ配信で紹介されている。実際にお菓子を作っている工場からライブ配信した

り、畑で農産物を収穫している様子をライブ配信したりしている。

現在はライブ配信が行える SNS アプリでもネットショッピングが可能になっている。一例として「抖音(ドウイン)」(中国版 TikTok) が挙げられる。抖音は、2016年に動画配信サービスを提供するアプリとして開発されたが、近年買い物機能が追加された。これにより、インフルエンサーがライブ配信で紹介した商品を、同じアプリ内で購入することができるようになった。

ネットショッピングを利用する上で、品質を確かめることは難しい。ライブ配信では商品の中身を詳しく紹介しているため、比較的安心して購入することができる。また、ライブ配信ではクーポンが配布されることがあるため、利用者がより多くなったと考えられる。

### (2) 即時配送

中国のネットショッピングの特徴として、配送の速さが挙げられる。日用品であれば平均して2~3日ほどで商品が届く。筆者が住んでいる瀋陽と約1,700km離れている上海からの宅配便も3日で届いた。生鮮食品であれば、もっと早い。注文してから30分~2時間ほどで食品が届く。

中国では、このような「即時配送」の需要が高まっている。中国電子商取引報告書によると、2024年の即時配送総額は前年度に比べ19.5%増加した。即時配送の主な商品は生鮮食品であるが、家電や健康商品など、幅広い商品で利用されている。また即時配送の発達により、旅行中でもネットショッピングを利用することができるようになった。都市部では、ホテルに荷物受取り用ボックスが設置されていることもある。

即時配送は、利用者にとっては便利なサービスであるが、配送員の待遇が問題になっている。今後、サービス向上と配達員の待遇改善の両立が期待される。



ホテルに設置されている配送ボックス

## 4. 終わりに

中国のネットショッピングは、20数年でここまで発展した。中国電子商取引報告書によると、現在ではインターネット利用者の約8割の人がネットショッピングを利用しており、配送ボックスも至る所に設置されるなど、ネットショッピングは生活の一部となっている。また、一部地域でドローンを用いた配送も始まるなど、今もなお発展し続けている。筆者は中国に滞在し、ネットショッピングの便利さを実感している。今後ネットショッピングの更なる発展に期待したい。